

いっつぱはん質問

本定例会での一般質問は、10人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

農産物直売所整備の支援策は

国等の補助や情報提供など行う



本館 憲一 議員
(花巻クラブ)

Q 農産物直売所の食の安全や農業振興などの面から果たす役割をどのように認識しているのか伺

う。また、西南地域ではバイパス沿いに、直売所の整備を中心とする道の駅設置を要請している。この直売所整備について行政の支援を要望するものであるが、支援策についてどのように考えているか伺う。新市建設計画の主要施策の中に安全・

安心のまちづくりとして道の駅整備事業の記載があるが、この内容について示せ。
A(農林水産部長) 農作物直売所は、農家にとって安全・安心な農産物の安定的提供や、適正な表示など経営上の責任も大きくなるが、主体的な価

格設定や販売など農業経営上有益と考えている。また、直売所の整備を希望する地域に対しては、国等の補助事業の導入や先進事例の情報提供、アドバイス等を行うなど支援をしていきたいと考えている。また、道の駅整備事業については、教地区から要望があるが、いずれも施設の設置者や運営主体が不明確であり、今後、相当の調査検討が必要である。



直売所では安全・安心な農産物を提供し続けています(産直「すぎの樹」)

大迫診療センターの民間移管

選択肢の一つとして検討する



鎌田 政子 議員
(明和会)

Q 大迫地域住民との懇談会に先立って、市長は、「民間移管の検討に着手する」と見解を述べてい

る。行政の責任者として、どのような移管の仕方をイメージしていることだったのか伺う。
A(市長) 民間移管については、懇談会においてベッドを残してほしいとの要望がたくさんあったことから、ベッドを確保する方向としては、県の

方針が確定した以上、民間移管も一つの選択肢として幅広く検討しなければならぬという考えで述べたものである。
Q 多くの患者を出した新型インフルエンザだ

が、冬に向かう時節、第二波として流行する危険性が指摘されている。どのような対策を取っているのか。また、保育園が休園になった際の緊急保育なども考えているか。
A(健康・とも部長) 感染防止のための手洗い等について啓発を行うとともに、新型インフルエンザ対策行動マニュアルに基づき対応する。また、保育園の休園に対しては、県や保育施設と連携しながら対応していく。



知事が地域住民と意見交換を行った「地域診療センター等懇談会」(4/27)

居宅介護者への支援充実を

介護者の実態調査を実施する



阿部 一男 議員
(平和環境社民クラブ)

Q 今、施設入所待機者の約500名を含め居宅介護者は2800名いる。この居宅介護者は、毎日苦

勞しながら介護に当たっている。市は実態把握調査を行うとともに「介護者の健康手帳」作成等、介護者への支援充実に取り組むべきだ。
A(生活福祉部長) 介護者実態調査については、介護に対する要望や介護者の健康状況の把握が必

要と認識している。今後介護者の実態把握調査を実施し、介護者への支援充実も検討していく。
Q 国の農地法改正は、一般企業に農地の利用権を認めるもの。将来、農業以外の資本が参入する

ことになる。農業振興のため、中小規模農家も含め農家所得保障確立を国に働きかけるべきだ。
A(農林水産部長) 農地法改正法案は、一般企業の農業への参入が容易になるなど、規制が緩和される一方で、事後の監視と規制を強化したものと なっている。市で6月下旬に素案を作成する農業政策ビジョンでの提言の骨子は、農業者への直接所得保障などの制度の確立を中心としている。



家族介護者の交流と情報提供、リフレッシュのため開催されている家族介護者交流会(3/14 介護食の講習会)